

## Profile 高橋辰雄

美術家&ライター。1952 甲府市生れ。大学で科学（抽象代数学、数理言語学）を学びながら独学で抽象絵画を描き始める。山梨大学工学部計算機科学科卒業後、Bゼミ school、創造のアトリエ（横浜）で現代美術を学び、ミニマル絵画やコンセプチュアルアートを発表。大学に戻り研究生として過ごしながら新日本文学会文学学校（東中野）に学び、<セル・ユニオン><試行する美術>に参加する。80年代以降は活動拠点を地元置き、<絵画のプラクシス><環境芸術ワークショップ>を主宰。山梨、東京、静岡、横浜で作品を発表する。建築事務所でコンセプトメイクの他、モニュメント、天井画、壁画等の制作に従事した後、90年代KCCアートプロデュース高橋事務所を設立。地場産業の企画デザイン、ジュエリーフェア演出等のアートプロデュースに奔走する。'09現代美術と実験音楽のユニット<とらぶるす>を結成。美術活動と共に、地域に取材したエッセイ「濁川余話」「山の辺残照」「人がつくる家・家がつくるドラマ」を地元誌に連載するなど多彩な活動を続けて来た。30数年経た現在は、伝統文化をトランスナショナルな視点で読み直し、美術と文学で再構築する作業を続けている。